



※実銃ではありません。

何回目のハタチを 迎えても、私は 挑戦し続けたい。

— 41歳・浜田市

40歳を目前に、まったくの未経験でハンターを始めました。

狩猟は、私を成長させてくれました。命をとる時の叫び声、におい、それを見たうえでお肉をいただくことは、価値観を変えました。さらに自分になりたいと思う、理想の先輩にも出会えました。

40歳は2回目のハタチ。歳を重ねて守るものが多くなると迷う人もいるかもしれない。私も3人の子供がいるなかでの挑戦でした。だけど、やってみたらいいと思います。ゼロとイチの差はとてつもなく大きいと思うから。

これからは、狩猟を次の世代にも残すため、地域のために頑張りたいです。(石川瑞恵さん／猟師見習い)